大会の実施はむりと思われましたが、なんとか道路の両端を歩く感じで実施できました。

●コースまでは雪がないので番屋の湯脇の道路を３００m歩きコースに行きました。

●コースはワンウェイで行きは右端　帰りも右端を歩く感じでしたが、ざらめ状の雪質でスキーがよく滑りました。

●今日はあまり楽しい状態の歩くスキーではありませんでしたが、係の方の準備で何とか実施できました。

●終了後は石狩ライオンズクラブの方から暖かい甘酒のサービスがありました。

記念写真

かんじきコース

甘酒のサービス

第７回　スノーデュアスロン北海道２０２０

１、日　時　：　令和２年２月８日（土）～９日（日）　各日１０：１５スタート

２、場　所　：　滝野公園　歩くスキー常設コース

３、天　候　：　８日晴れ　気温－７℃　９日晴れ　気温－１３℃積雪各日５１㎝

４、参加人員　：　８日　チーム戦　３チーム９名、９日個人戦　１４名

５、競技内容　：　８日　チーム戦　１チーム３名（バイク、スキー、バイク）
９日　個人戦　　Ａコース　バイク２Ｋ・スキー６Ｋ
Ｂコース　バイク１Ｋ・スキー３Ｋ

６、内　容　：

● 雪不足の中で、２月３日以降の積雪で、何とか開催に漕ぎつけましたが、それでも昨年開催時の積雪８９ｃｍ比べると約４０ｃｍの少なさでした。
● 雪上ファットバイクの１ｋｍコースは雪不足のため利用できず、つどいも森に臨時で、２００ｍの周回コースを作り、変則の形で開催しました。
● 雪不足でも９日の個人戦は、今年一番の寒気の中、雪の締った大変良いコンディションの状況で実施することができ、参加者の皆さんは満足されたようでした。
● 第１回目から連続出場の女性は、優勝メダルを胸にこれから何回でも参加したいと意気込んで会場を後にしました。
● 雪上ファットバイクの試乗会が今年も併せて開催され、子供達や多くのお客様が楽しんでいました。更に冬の乗り物として定着するといいですね。

参加者記念写真

閉会式

ニッコリfinisher証明をもらって

Ａコーススタート

令和元年度　野幌森林公園スノーハイキング

１、日　時　：　令和２年２月１１日（火祝）　０９：３０～１１：４５

２、場　所　：　野幌森林公園　大沢口駐車場集合　（江別市文京台）

３、コース　：　・　桂コース　（桂コース＋大沢コース）　３・６ｋｍ
・　大沢コース（大沢コース＋大沢コース）　３・８ｋｍ
・　ユズリハコース（四季美コース＋大沢コース）　５．８ｋｍ

４、天　候　：　晴れ、　気温－２℃、　積雪　：　約５０ｃｍ

５、参加人員　：　２７名
北海道歩くスキー協会　歩くスキー　１３名
全日本ノルディックウォーキング連盟
北海道支部　スノーシュー　１４名

６、内　容　：

● 今回初めて当協会歩くスキーと全日本ノルディックウォーキング連盟スノーシューの皆さんと親睦を兼ねてコラボレート致しました。

● 開会式では、当協会丸山会長と全日本ノルディックウォーキング連盟の元オリンピック代表江川淳さんのご挨拶、準備体操後各自が選んだコースを歩くスキー、スノーシューに分かれてスタート致しました。

● すっきり晴れた青空のもと、それぞれマイペースで自然林の景色を眺めたりして歩きました。途中広大な森林公園では我々の他に大きなカメラを持ち撮影する人、バードウォッチングの人、冬の樹木観察等多くの人と出会い時々我々に説明を受けたりして堪能しながら大沢口にゴール致しました。

● ゴール後２人の５０代女性同士の会話「スノーシューの人は歩くスキーを、歩くスキーの人はスノーシューを今後一度体験してみたい」と笑顔でおっしゃっていました。　閉会式後は、森林公園温泉で疲れを癒し昼食会では更に親睦を深

めました。

集合写真

スノーシュースタート前

開会式

準備体操

令和元年度　春山スキーハイキング

１、日　時　：　令和２年３月１５日（日）

２、場　所　：　春香山・小樽内川コース
　　０９：３０春香山登山口スタート～小樽内川沿い～雨量観測施設～
　　１１：１５頃を目指し折り返し～出発点へ戻るコース…約８．７ｋｍ

３、参加人員　：　９名

４、天　候　：　快晴、　気温　2℃

５、内　容　：

● 新型コロナウイルスの影響で参加者は少ないが素晴らしい天候に恵まれ今年最後のスキー日和になりました。

● 定刻に春香山登山口駐車場に着きました。幹事役員の説明後、雪に埋もれた小さな春香山登山小屋の前で集合写真を撮り、元気に出発しました。

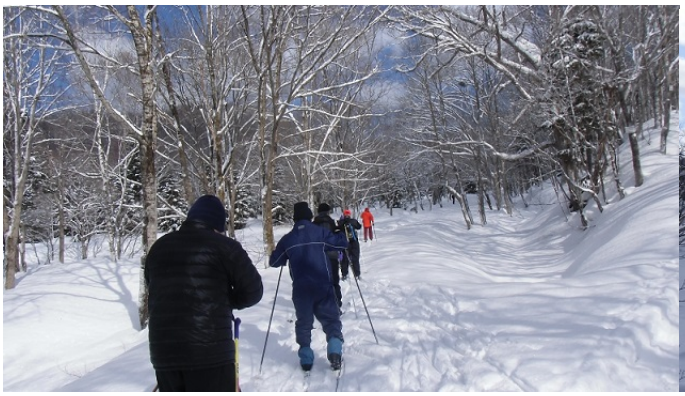
● 小樽内川沿いの平坦な緩やかに続くコースをゆっくりと登って行きます。快晴、無風状態で春の息吹を感じながら、川のせせらぎや樹林の景観を楽しみながら雨量観測施設を右折後、少し勾配も出て来ました。その後スキー跡スノモービル跡も消え、体力のある先頭２人がラッセル誘導、皆さん汗をかきながら折り返しの目標地点に到着しました。

● 帰りは春の日差しを受けながら下りを一気にスキーを楽しむ人、日当たりと日陰の雪質が異なる為、悪戦苦闘しながら滑る人、それぞれマイペースで全員楽しみながら完走しました。

● ６０代の参加者は「本日は天候も良く大変楽しいスキーハイキングでした、新型コロナウイルスの影響で家に閉じこもりでしたが、ストレスが解消されました」と笑顔で話していました。

　　来年も企画予定しますので、多くの参加者を期待致します。

集　合　写　真



一歩一歩前進

楽しみながら前進

途中休憩

素晴らしい景観

もどる